

《実習科目 実習科目》

| | | | | | |
|---------------------------|--------------------------------------|-------|------|----------|-------|
| 科目名 | 保育実習Ⅲ | | | | |
| 担当者氏名 | 昇 慶一、山田 義則 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 2・選択 | 開講年次・開講期 | 3年・秋期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ○ 実習-2 豊かな人間性の醸成 ◎ 実習-5 指導・保育の専門性 | | | | |

《授業の概要》

実習する施設の意義や技術、実習における心構えを確認し、実習課題の設定や実習記録の書き方などを学ぶ。実習では、施設の入所児童・利用者と保育者が織りなす現場を実感し、施設保育について主体的に考え、積極的に参加する力を養う。実習後の指導等を通して、実習内容を深め、施設における「子どもの権利」や「子どもの最善の利益」の実現について意識を高める講義中に指示する提出物は、提出期限を厳守すること

《授業の到達目標》

通所型福祉施設あるいは入所型福祉施設において、実習生として保育実践に参加し、施設保育士としてのスキル向上を目標にしている。保育実習Ⅰにおける施設理解を基礎として、より「実践」を重視した目標の設定と実現を目的とする。

《成績評価の方法》

実習評価 60%
提出物（実習日誌を含む）及び授業の受講態度 40%

《テキスト》

「保育実習の手引き（保育所・施設）」

《参考図書》

参考書：社会的養護Ⅰ及び社会的養護Ⅱで使用した教科書・参考書
その他、適宜資料を配布する

《授業時間外学習》

1. 実習先への事前訪問、実習後の実習記録・お礼状の送付は、各自で確実にすること。2. 保育者としての言動や記録における適切な文章表現を日常生活で意識し、各自が家庭での炊事・洗濯・掃除等の家事技術の習得に努めること。3. 授業での配布資料は、実習で必要となるので整理保管に注意すること。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 |
|----|-----------|-----------------------------------|
| 1 | オリエンテーション | 保育実習Ⅲの目的と意義、実習の流れと提出物の確認 |
| 2 | 事前指導（1） | 実習計画書の作成 |
| 3 | 事前指導（2） | 社会的養護の復習と家庭的養育 |
| 4 | 事前指導（3） | 実習日誌の作成演習 |
| 5 | 事前指導（4） | 礼状の作成練習、施設入所事例の検討 |
| 6 | 事前指導（5） | 援助計画と自立支援計画（事例演習） |
| 7 | 事前指導（6） | 援助計画と自立支援計画（事例演習に基づくグループワーク） |
| 8 | 事前指導（7） | 子ども理解を深める場面検討① |
| 9 | 事前指導（8） | 子ども理解を深める場面検討② |
| 10 | 事前指導（9） | 子ども理解を深める場面検討③ |
| 11 | 事後指導（1） | 児童福祉施設で暮らす子どもたちの思いについて考える |
| 12 | 事後指導（2） | 被措置児童等虐待の現状と対策 |
| 13 | 事後指導（3） | 子どもの権利ノートを考える |
| 14 | 事後指導（4） | 実習の報告と振り返り①（達成度の自己評価及び課題の自己分析） |
| 15 | 事後指導（5） | 実習の報告と振り返り②（施設保育士のあり方と今後の自己目標の設定） |